令和2年度ACTR

研究代表者所属・職名: 大学院生命環境科学研究科・教授 氏名: 細矢 憲

研究担当者:

京都府立大学(細矢 憲)

外部分担者・協力者(竹浪祐介氏、杉本豊明氏、齋藤眞千代氏、田渕茂彦氏、金盛聖三氏、ほか)

主な連携機関

京都府立植物園, 京都市産業技術研究所, 大平印刷(株),

京都府立盲学校、京都府立視力障害者福祉センター、など

【研究活動の要約】

植物園は「見る」ものだけではない。「春風があまいこと、もみじが香ばしいこと」など、視覚以外に感じることは少なくない。ただ、視覚に障害をお持ちの方にとっては、施設の場所、配置、園路のつながりだけではなく、そこにどんな植物があるのか?それはどういったものなのか?など、現状では、充分な情報が提供されているとは言えなかった。

今回,色の認識に障害をお持ちの方にも配慮したユニバーサルデザインに,施設,園路,点字の立体 印刷,さらには,ドット印刷による音声データの付与と 2019 年度に得られた視覚障害者の方のための 「触地図」を大幅にアップグレードし,新しい「新・触地図」を完成さることができました。

【研究活動の成果】

本研究は以下の3つの目標を掲げてスタートしました。

- 1. 2019 年度に得られた知見を基に植物園での実地検証のための触地図を試製作する
- 2. 学外研究担当者による実地検証に基づき点字や施設園路の立体表記を決定する
- 3. 最新の立体印刷技術とドット印刷を駆使して触知図の最終版を製作する

つまり、府大 ACTR の成果として 2019 年度に試作した植物園の触地図の問題点を基に、実地検証を含めて、さらにグレードアップと現実と合致した現時点での「最終形」を作製することを目的としました。 COVID-19 の影響により、視覚障害者の方に直接ご意見を頂戴するチャンスは大幅に減ったものの、植物園の担当者の方との綿密な打ち合わせの基、最終形を完成することができました。

それらを基に、府立盲学校の先生方にご協力頂き、現地・植物園での試用会を実施し、極めて貴重な ご意見を頂戴することができました。また、現状、色や立体印刷で表現している植物展示を、たとえば 竹の展示なら、竹を入れたインキでの印刷を行うなど、より現実に近づける検討を行っています。

【研究成果の還元】

- 1. 完成した触地図を300部製作した。植物園では令和3年1月15日に触地図完成を広報しました。
- 2. 令和3年1月20日に,京都市主催の京都環境賞優秀賞(180件応募)を受賞しました。
- 3. 令和3年1月21日,および2月23日に京都新聞で触地図関連の記事が掲載されました。
- 4. 令和2年9月13日毎日放送・京都知新において、触地図の試みが放映されました。このほか、全国から触地図についての問い合わせが寄せられています。

【お問い合わせ先】大学院生命環境科学研究科 高分子材料設計研究室 教授 細矢 憲Tel: 075-703-5444E-mail: hosoya@kpu.ac.jp

2020年度の活動の点描(植物園) 京都府立大学 細矢

ついに完成しました!! 府立植物園 触地図

さらに、第18回京都環境賞・優秀賞を受賞しました!! ご協力頂きました皆様に感謝申し上げます。







憲



京都新聞記事より

触地図で花や木楽しんで





府大ACTR触地図プロジェクト

触らないと伝わらない「環境情報」の伝え方改革~視覚障害者のための触地図の製作を通して得られたことを活かす~

コロナ禍で接触を避けることにより 「触れる」ことが情報源となっている 視覚障害のある方等が大きな影響を 受けている。

そこで, ユニバーサルデザイン, 抗菌インクによる点字印刷, 音声データ等を組み合わせて効率よく 環境情報を伝える「触地図」を二条域と 府立植物圏について作成し, 触らい ければ得られない情報を他の情報と リンクさせることで提供している。



【府大ACTR触地図プロジェクト】

竹浪祐介(代表・京都市産業技術研究所), 杉本豊明(大平印刷(株)), 齊藤眞千代(府立植物園)